自転車による製品事故を防ごう!! 日頃の心掛けであなたも安心

製品事故を防ぐポイント、ご存知ですか

- 自転車を選ぶときには、品質・安全性についての安全基準をベースとした認証（JISマーク、BAAマーク、SGマークなど）を参考に購入してください。

JISマーク

BAAマーク

スポーツBAAマーク

SGマーク

- 専門家による点検を受けましょう（初期点検・定期点検）※有料です

▶多くの製品事故が自転車の使用を始めて１年未満に発生しています。新しい自転車を購入して１～２カ月のうちに販売店などで初期点検を受けてください。
▶取扱説明書を必ず読んでください。
▶販売店などで自転車技士、自転車安全整備士などによる点検を受けましょう。
▶特に日常の点検で異常を発見した場合、転倒したりぶつかったりした場合には必ず点検を受けましょう。

- 皆さんも点検しましょう　（乗車前点検）

▶使用者が行う日常の点検として、取扱説明書に書かれてある項目をチェックしましょう。裏面のチェック項目を参考に点検してみてください。
▶異常が見つかったら、すぐに販売店などで点検・修理を受けてください。

- こんな乗り方は危険！　安全使用のための講習を受けましょう

▶ハンドルに買い物袋など物をさげて乗らない。
▶傘やステッキを車体につり下げて走らない。
▶発電機（ダイナモ）を足で操作しない。
▶段差乗り越え時の衝撃には十分注意、**特に小径車輪の自転車は危険です。**

自転車の安全利用講習会に参加しましょう。詳しくは、自治体あるいは最寄りの警察署や交通安全協会に確認してください。

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室
TEL　03-3501-1707
URL http://www.meti.go.jp/product_safety/

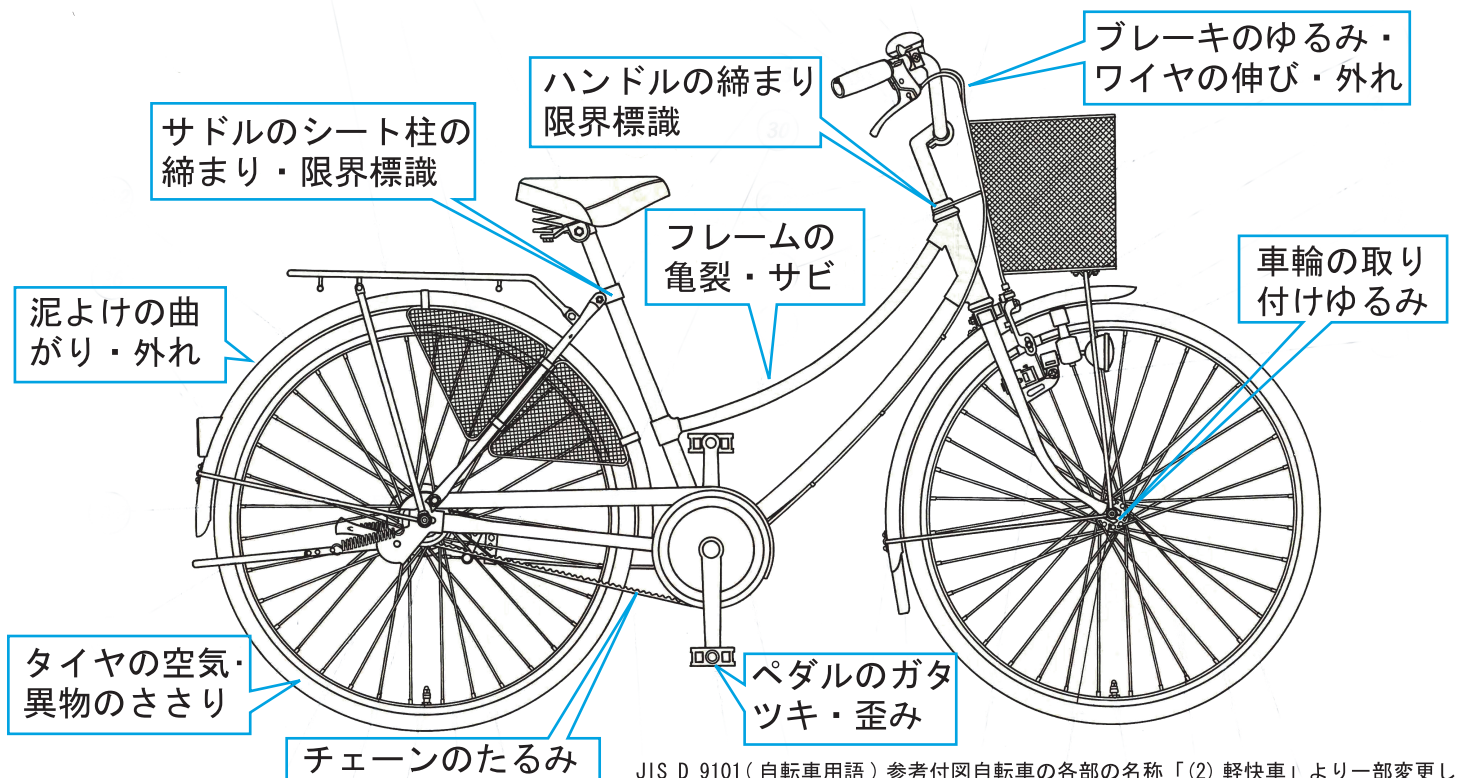
NITE・製品安全センター製品安全調査課

TEL　06-6942-1113
URL http://www.jiko.nite.go.jp/

リコール情報、事故情報は記載のURLでご確認いただけます。

さあ!!点検しましょう　あなたの自転車大丈夫ですか

ー 安全使用のためのチェックリスト ー

- □ 本体（フレーム）に亀裂やサビが発生していませんか。（フレーム破損、転倒）ペダルにガタツキや歪みがありませんか。（ペダル破損、転倒）
- □ 前輪・後輪のクイックレリーズやハブナットにゆるみがありませんか。（車輪脱落、転倒）
- □ チェーンにたるみがありませんか、摩耗していませんか、サビついていませんか。チェーンケースに接触していませんか。（チェーン破断、転倒）
- □ ハンドル軸（ステム）のはめ合わせ限界標識が、隠れていて確実に締まっていますか。（ハンドル脱落、転倒）
- □ ブレーキレバー、ブレーキブロックの取り付けにゆるみがありませんか。ブレーキワイヤに伸びやサビ、外れはありませんか。（ブレーキ破損、衝突）
- □ 泥よけの曲がりや外れがありませんか。（泥よけ巻込み、転倒）
- □ サドルのシート柱（ポスト）のはめ合わせ限界標識が、隠れていて確実に締まっていますか。（サドル脱落、転倒）
- □ タイヤの空気圧は十分ですか。異物のささりはありませんか。（タイヤのパンク、リム外れ）
- □ 折り畳み自転車（右参照）は、折り畳み部が確実に固定されていますか。（可動部折れ、転倒）

JIS D 9101（自転車用語）参考付図自転車の各部の名称「(2) 軽快車」より一部変更して引用

➤ 整備不良車（例えば、ブレーキの装備されていないいわゆる「ピスト車」等）は、公道では使用できません。